

自己記録にチャレンジ!

浦幌町小学生スピードスケート記録会

2月2日、町民スケートリンクにおいて浦幌町小学生スピードスケート記録会が行われ、町内の4小学校から児童が一同に集まりました。悪天候のため2日延期しての開催でしたが、児童たちは父母や友達からの応援を受け、最後までゴールを目指して滑っていました。4年女子の1000mでは、浦幌小学校の坂口琴美さんが1分56秒49の大会新記録をマークしました。



スケート少年団育成会の父母が整備したリンクを快走する児童

寒さに負けない、子どもたち



子どもは風の子元気いっぱい

吉野幼稚園雪中親子運動会

2月4日、吉野幼稚園で雪中親子運動会が行われました。晴天とはいえ、強風で耳や手足がかじかむ寒さでしたが、雪の中を転んだり滑ったりの体当たりの競技で、冬の寒さを楽しんでいました。

教育長から激励を受ける岸田君



全国スケート大会へ2年連続出場

上浦幌中学校の岸田昌也君

1月26日、上浦幌中学校3年生の岸田昌也君が全国中学校スケート大会に出場することを大谷教育長に報告しました。岸田さんは今期、長距離から中距離に転向、全道大会で入賞し1000mと1500mで全国大会の切符を手に入れました。2月3日から苫小牧市で行われた全国大会では1500mで4位となり、表彰台まであと一步という好成績を収めました。

これからもお元気で

100歳の敬老祝金を贈呈

12月29日、特別養護老人ホームはまなす園に入所している高橋ハナさんに、満100歳の敬老祝金が贈呈されました。高橋さんは明治40年生まれ。現在、町内の100歳以上の方は高橋さんただ一人です。八木町長がホームを訪れ、直接高橋さんに祝金が手渡されました。



はまなす園の皆さんも高橋さんを祝福

子育て出前ミニ講座 温かな家庭が子どもを育てる

1月25日、子育て支援センターにおいて子育て出前ミニ講座が開催され、子どもを持つ親など7名が参加しました。豊頃町生涯学習推進アドバイザーの笠松信一さんが、親子関係の大切さについて、育児放棄をする親が増加し感情表現しない子どもが育っていることや、人間の教育には適時性があり、温かな家庭が子どもを育てるためにいかに重要かということをお話しました。



「たまには手抜きも必要」と忙しい母親をねぎらう場面も…

分団毎に訓練日を利用して普通救命講習・応急手当等を受講



救命を学ぶ 消防団員幹部研修会

浦幌消防団（吉仲政伸団長・団員120名）の班長以上の幹部団員39名が浦幌消防署員を講師として救命講習を受講し、ガイドラインの変更点を含む人口呼吸・心臓マッサージの実技を行い、AEDを含む一連の心肺蘇生法を学びました。受講者は万一の事態に備えて技術と知識の習得に努め、今後の救命率向上の一助となるよう期待されています。

冬休み最後の日、出来上がった作品は宿題の一つに



化石のレプリカ作り教室 昔の生き物は面白いかたちだね

1月16日、浦幌町教育文化センターにおいて足寄動物化石博物館澤村館長を講師に「化石のレプリカづくり教室」（町博物館主催）が行われました。参加した小学1年生～6年生までの18名は用意された型に石膏を流し、アンモナイトや三葉虫などの化石のレプリカづくりに奮闘していました。作品を乾燥させている間に、子どもたちは博物館で展示してあるデスモスチルスの生態などを学びました。

新型消防車両がお目見え 消火にも、人命救助にも

1月30日、浦幌消防署に新しい消防車が導入されました。従来のタンク車は消火だけの、いわば先発車でしたが、新型車はタンク車と救助工作車の両方の機能を併せ持ち、火災時の消火活動のほか事故現場での迅速な対応が期待されます。キャビンの後部座席には空気呼吸器も備え付けられ、災害時の逃げ遅れに対する捜索にも大いに役立つ最先端車両です。



新型車両、通称「レスキューII」